



平成 27 年 10 月 22 日

各 位

本社所在地	東京都新宿区北新宿二丁目 21 番 1 号
会 社 名	健康コーポレーション株式会社
代 表 者	代表取締役社長 瀬戸 健
コード番号	2928 札幌証券取引所アンビシヤス
問合せ先	取 締 役 香西 哲雄
電 話 番 号	03-5337-1337
U R L	<a href="http://www.kenkoucorp.co.jp/">http://www.kenkoucorp.co.jp/</a>

子会社（SD エンターテイメント株式会社）の業績予想の修正及び特別損失計上に関するお知らせ

当社子会社である SD エンターテイメント株式会社は、本日、下記の適時開示を行いましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

- ・業績予想の修正及び特別損失計上に関するお知らせ

以上



平成 27 年 10 月 22 日

各 位

会 社 名 SDエンターテイメント株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 河野 正  
 (JASDAQ コード 4650)  
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 吉住 実  
 電 話 番 号 011-241-3951  
 U R L <http://www.sugai-dinos.jp/>

### 業績予想の修正及び特別損失計上に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において、最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 5 月 12 日に発表しました平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想を修正するとともに、下記のとおり特別損失を計上いたしますのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正

(1)平成 28 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,200	120	50	△ 10	-
今回発表予想(B)	3,963	79	△ 17	△ 79	△ 9.13
増減額(B-A)	△ 237	△ 41	△ 67	△ 69	
増減率(%)	△ 5.6	△ 34.2	-	-	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	-	-	-	-	-

(2)平成 28 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,800	90	20	△ 20	-
今回発表予想(B)	3,665	85	△ 5	△ 66	△ 7.63
増減額(B-A)	△ 135	△ 5	△ 25	△ 46	
増減率(%)	△ 3.6	△ 5.6	-	-	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	3,667	88	17	124	29.33

#### 2. 修正理由

(1)個別業績予想の修正

当第 2 四半期連結累計期間の個別業績は、ヒット作が連続したシネマ事業の好調、ボウリング事業の回復がありましたが、上昇を目論んでいたフィットネス事業及び GAME 事業が予想を下回り、

全社売上高はほぼ前年同期並みの水準で推移しました。利益面では、営業利益は、前期より手掛けた種々の収益構造改善の効果等により、ほぼ予想通りの見込みであります。

しかしながら、名古屋市内ゲーム店舗1店舗閉店の影響により、アミューズメント機器処分損の発生(営業外費用 10 百万円)や、後述の固定資産除却損等(特別損失 38 百万円)を計上したことなどにより、経常利益・当期純利益とも前回発表予想を下回る見込みであります。

## (2)連結業績予想の修正

前回発表予想では4月より損益を取り込む予定であったエムシーツー株式会社及びその子会社について、業績は順調に推移しておりますが、体制準備の都合上7月から損益を取り込んだため、3ヶ月の利益貢献のみとなり前回発表予想を下回りました。また、株式会社フォーユー及びその子会社に関しては、主要事業である介護事業・通信テレマーケティング事業ともに、事業立て直し期間中であり、利益はマイナスで推移しました。

以上の理由により、平成 28 年3月期第2四半期(累計)の連結及び個別の業績予想を修正いたします。

## 3. 特別損失の計上

第2四半期連結累計期間におきまして、店舗閉鎖に伴う、固定資産除却損等 38 百万円を特別損失に計上いたします。

## 4. 通期の業績予想

通期の業績予想につきましては、平成 27 年5月 12 日に公表しました業績予想に変更はございません。

その理由としては、年末年始興行に「スター・ウォーズ」シリーズ最新作が控えているシネマ事業・ボウリング事業が下期も好調を維持できる見込みであることをはじめ、逆風下にあったGAME事業においても既存店売上前年同月比超え店舗が増加するようになってきたことのほか、インターネットとリアル融合「ネットキャッチャー」などの事業開始を計画中であること、連結子会社のエムシーツー株式会社等の利益貢献が6ヶ月間フルに見込めることなどが挙げられます。

また、フィットネス事業においては、親会社の健康コーポレーション株式会社やRIZAP株式会社のノウハウを活用し、4月より準備を始め、7月より実験モニターを始めた当社フィットネス事業オリジナルの新ダイエットプログラム『FIVE (ファイブ)』(本日付ニュースリリース「SDエンターテイメント、ダイエットプログラム『FIVE (ファイブ)』本格スタート!」を参照 <http://www.sugai-dinos.jp/company/>)を既存フィットネスクラブ「SDフィットネス国立店」内にオープンし、10 月より本格宣伝広告活動を開始したほか、プロテインほかサプリメントなど当社オリジナル商品の拡充(2015 年 10 月6日付ニュースリリース「SDフィットネス「女性向けスイーツプロテイン」新発売」参照 <http://www.sugai-dinos.jp/company/>)と販売強化、店名変更一周年キャンペーンなど売上上昇が期待できます。

加えて、上期に実施した設備投資、当社大型複合施設駐車場への「次世代自動車充電インフラ整備」については、下期に補助金収入として特別利益約 17 百万円計上されることが既に見込まれております。

以上の理由により、平成 28 年3月期の通期業績予想につきましては、個別・連結とも前回発表した業績予想に変更はありません。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知お祈いします。

以 上